東京都、大規模会場で米ノババックス製ワクチン接種開始

#東京 #新型コロナ

2022/5/31 2:00

東京都はノババックス製のワクチン接種を開始した（30日、東京都庁）

東京都は30日、都の大規模接種会場で米ノババックス社が開発した新型コロナウイルスワクチンの接種を始めた。ワクチンは武田薬品工業が製造し、これまで医学的な理由からワクチンを接種できなかった人も利用できる可能性があることなどが特徴という。都は感染予防と経済の両立に向け、ワクチン接種率の向上につなげる。

30日、都が接種の様子を公開した。都が運営する会場でノババックスのワクチンを使用するのは都庁と立川市内の2カ所で、都庁の会場は1回目接種者向けの予約が今週末まで埋まっているという。3回目の接種でノババックスのワクチンを打った30代男性は、仕事への影響を考え副作用が比較的出にくいとされる同ワクチンを選んだと話した。

都内では品川区、板橋区なども6月に集団接種会場でノババックスのワクチン接種を相次いで始める。品川区の担当者は「他の感染症で使用実績があり、副作用の頻度が低いとされる種類のワクチンだ。選択肢を増やすことで接種率を高めたい」と話した。